



2024年6月期決算短信 補足説明資料

株式会社 WOLVES HAND

2024年6月





Contents

1. **2024年6月期決算の概要**
2. **市場動向及び今後の戦略**



2024年6月期決算の概要

1



2024年6月期 連結業績実績



- 前年比増収増益、売上高及び営業利益以下の各利益は過去最高を更新
- 上場関連の一時費用の発生による営業費用増加+30百万円により経常利益は前年比同水準

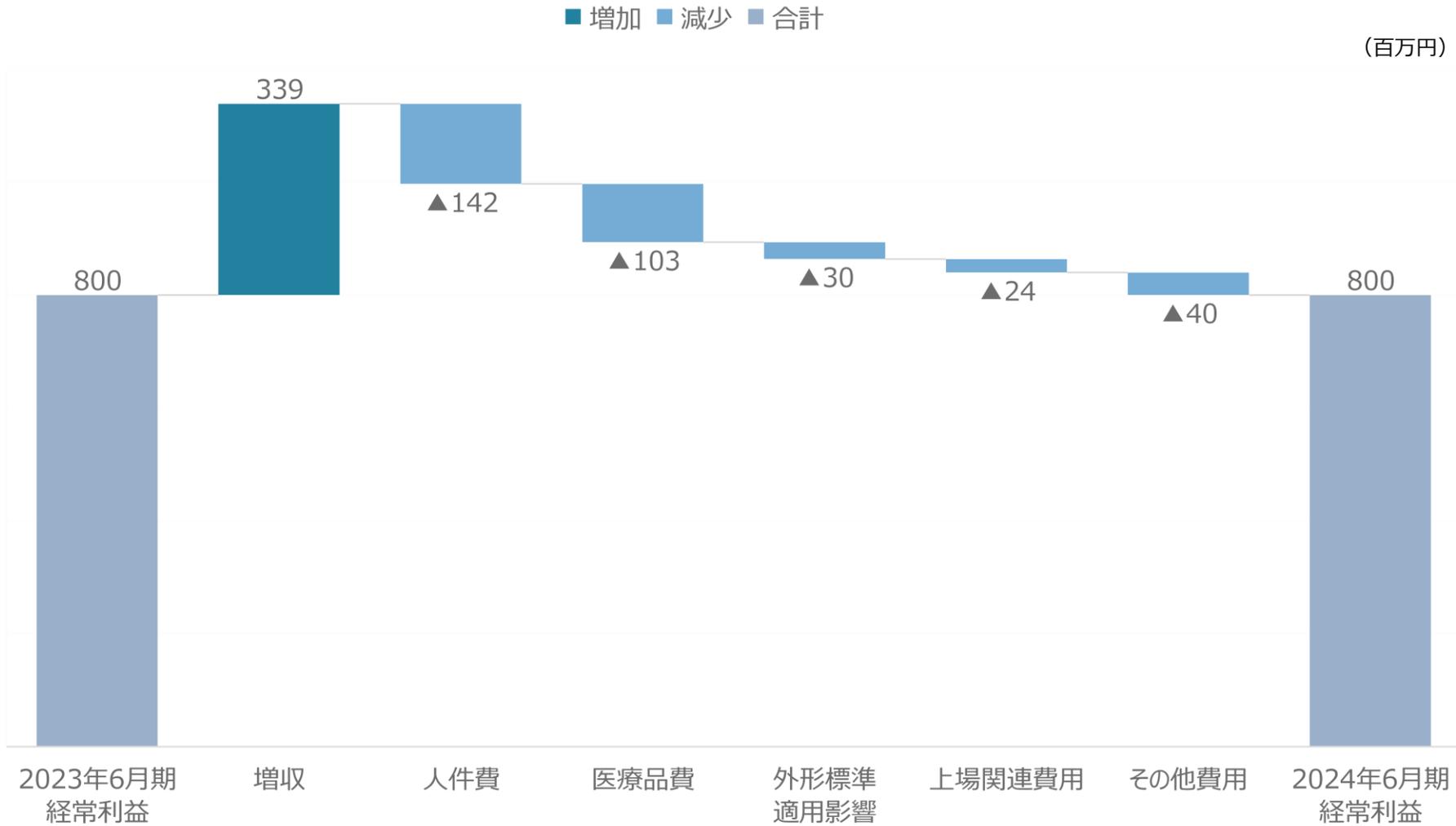
(単位：百万円)

	2023年6月期	2024年6月期	増減額	増減率	主な増減理由
売上高	4,651	4,990	+339	+7.30%	2023年6月期にM&Aを実施した子会社の通期寄与及び既存病院の増収
売上原価	3,365	3,617	+252	+7.48%	売上増加により増加
販売費及び一般管理費	482	545	+63	+13.20%	人件費増加及び増資により外形標準課税適用法人となったことによる租税公課の増加
営業利益	803	827	+24	+3.00%	
経常利益	800	800	+0	+0.00%	上場関連費用の発生による営業費用の増加+30百万円
親会社株主に帰属する 当期純利益	506	558	+52	+10.30%	
EBITDA	1,119	1,150	+31	+2.79%	
1株当たり当期純利益 (円)	68.17	75.20	+7.03	+10.31%	

経常利益増減要因



- 前年比増収も、人員増加、上場に伴う一時費用の発生により経常利益は前年比同水準



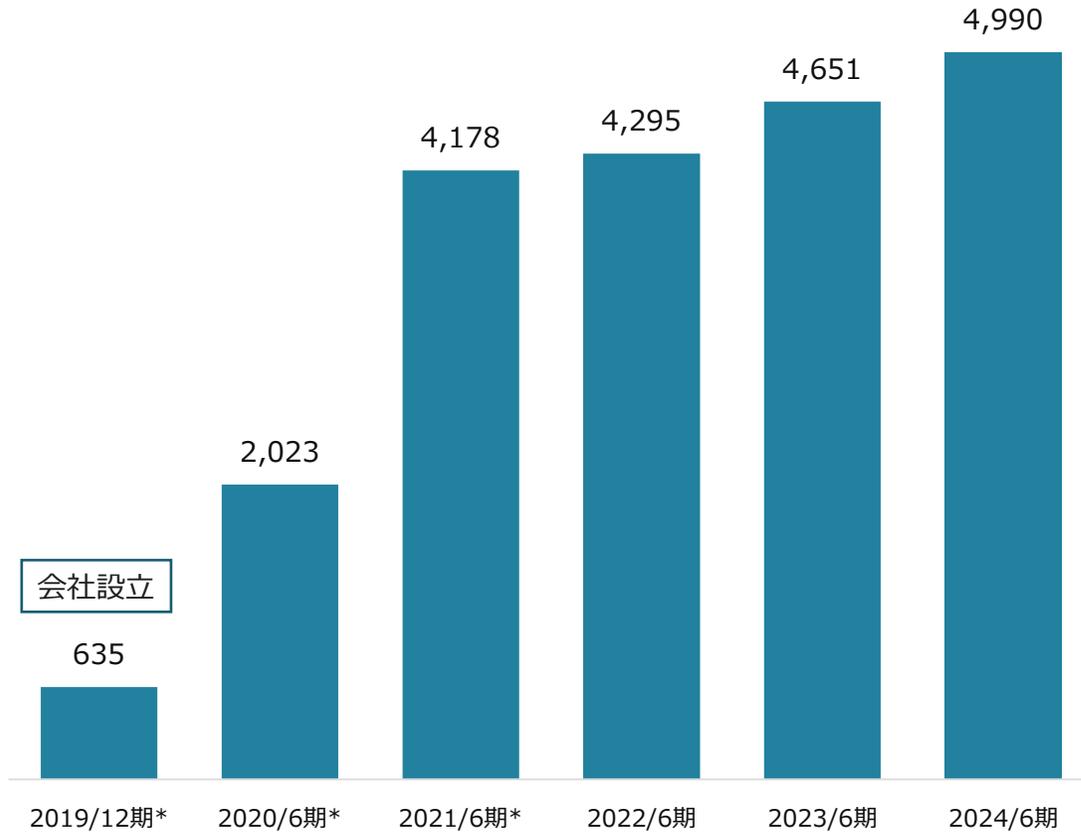
経営指標の推移



- 売上高は設立以降連続で増収、過去最高を記録
- 営業利益及びEBITDAも過去最高を記録するも、外形標準適用の影響で営業利益率は若干低下

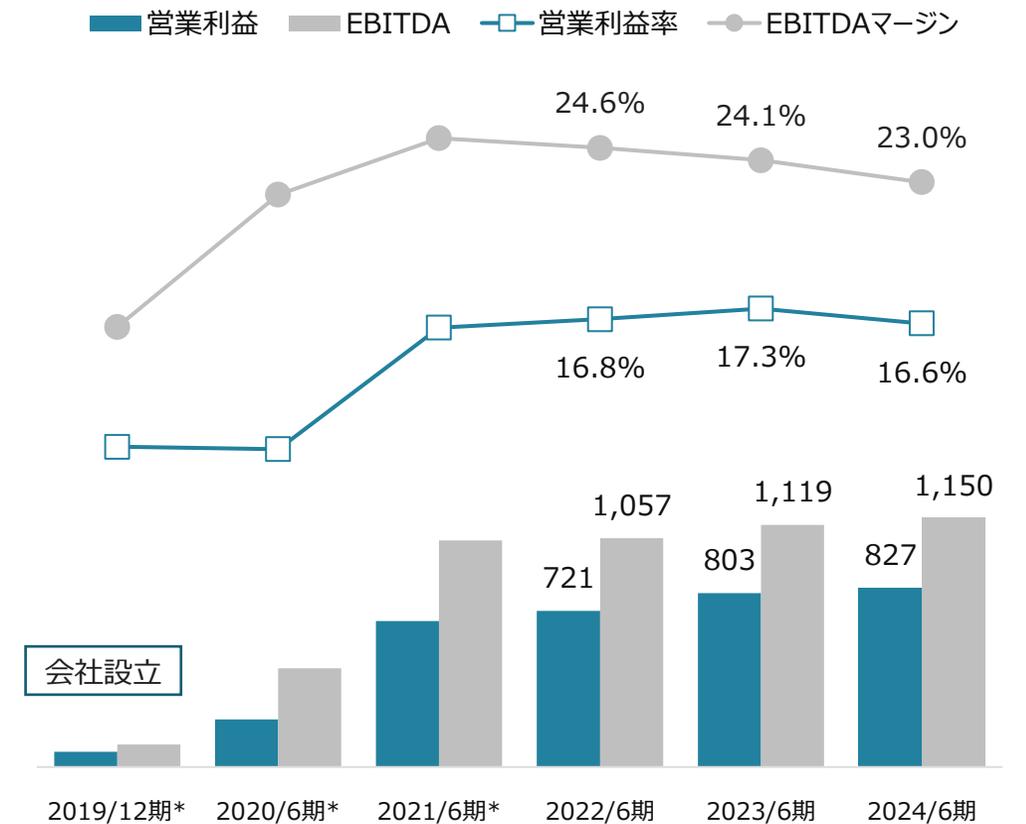
売上高の推移

(百万円)



利益及び利益率の推移

(百万円)



*EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費

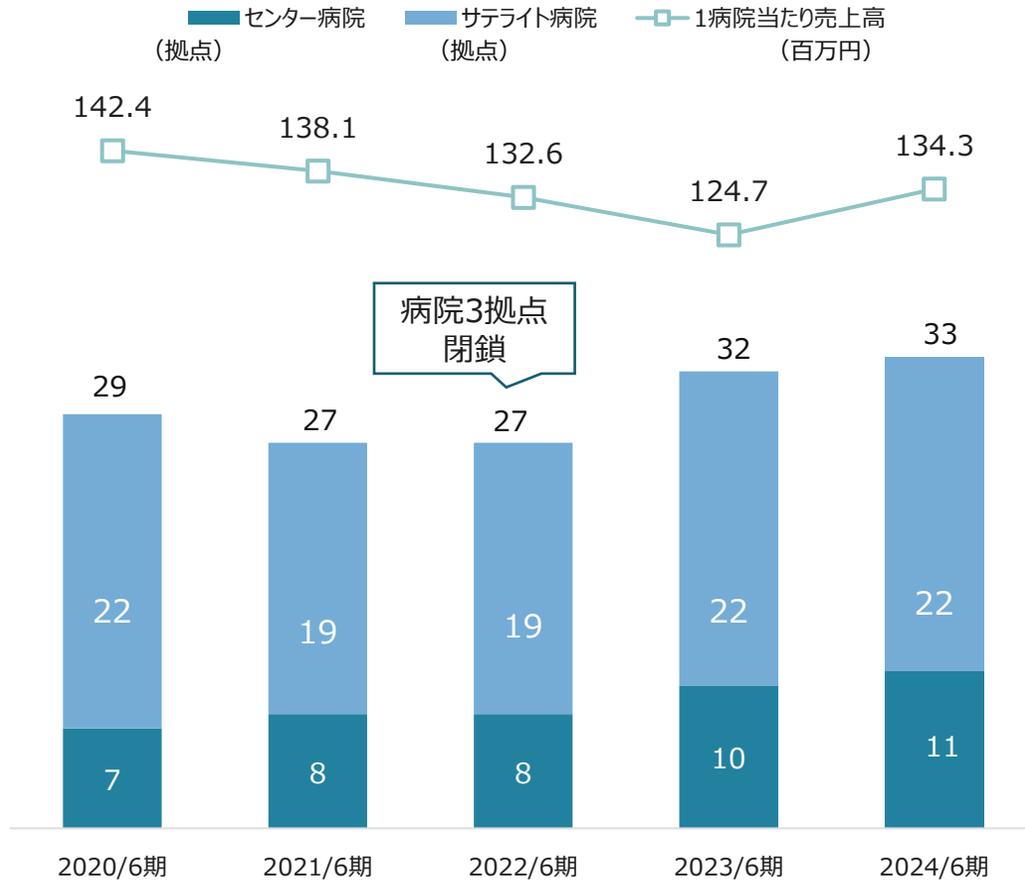
*2019/12期は9ヵ月、2020/6期は6ヵ月の変則決算（2019/12期は、2019/6に動物病院事業取込み、実質的に事業開始） 2021/6期以前は単体決算

動物病院数 & 1病院当たり売上高、診療件数 & 診療単価の推移

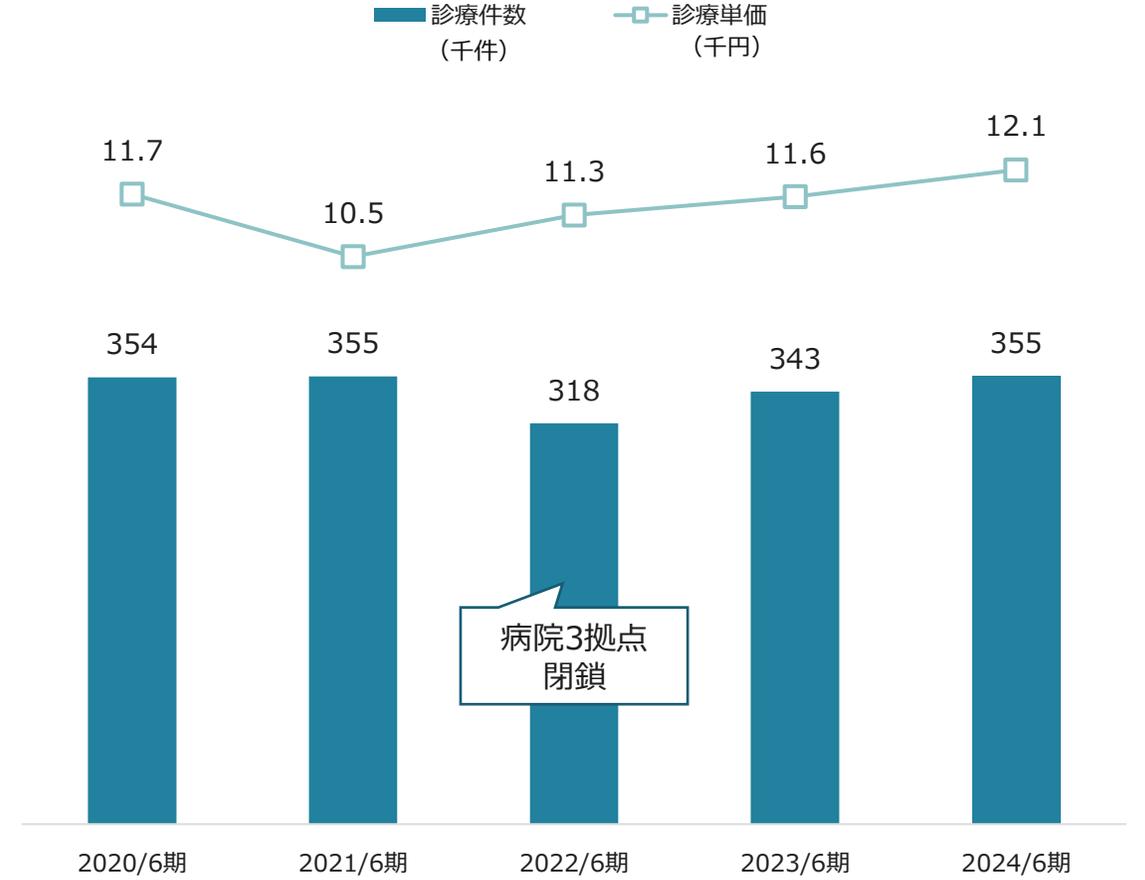


- 動物病院数は1拠点増加により2024年6月末時点で33病院
- 診療件数は過去最高件数を記録し、診療単価も上昇

動物病院数の推移



診療件数の推移



*2020/6期は6ヵ月の変則決算、24/6期は3Qであり、診療件数、1病院当たり売上高は年率換算数字

バランスシートの状況

- 営業キャッシュ・フローの獲得により現預金は前期比増加
- 福岡エリア新病院開設により固定資産増加



(単位：百万円)

	2023年6月期	2024年6月期	増減額	主な増減理由
流動資産	1,040	1,297	+257	
現預金	690	910	+220	増収による増加
売掛金	198	237	+39	
固定資産	4,412	4,487	+75	
建物及び構築物	729	861	+132	福岡エリア新病院設立による増加
土地	1,490	1,624	+134	同上
のれん	1,618	1,471	▲147	償却による減少
資産合計	5,452	5,784	+332	
流動負債	1,218	1,130	▲88	
一年内返済予定の長期借入金	454	457	+3	
未払金	224	247	+23	
固定負債	2,714	2,540	▲174	
長期借入金	2,587	2,423	▲164	約定返済による減少
負債合計	3,932	3,670	▲262	
純資産	1,519	2,113	+594	
負債・純資産合計	5,452	5,784	+332	



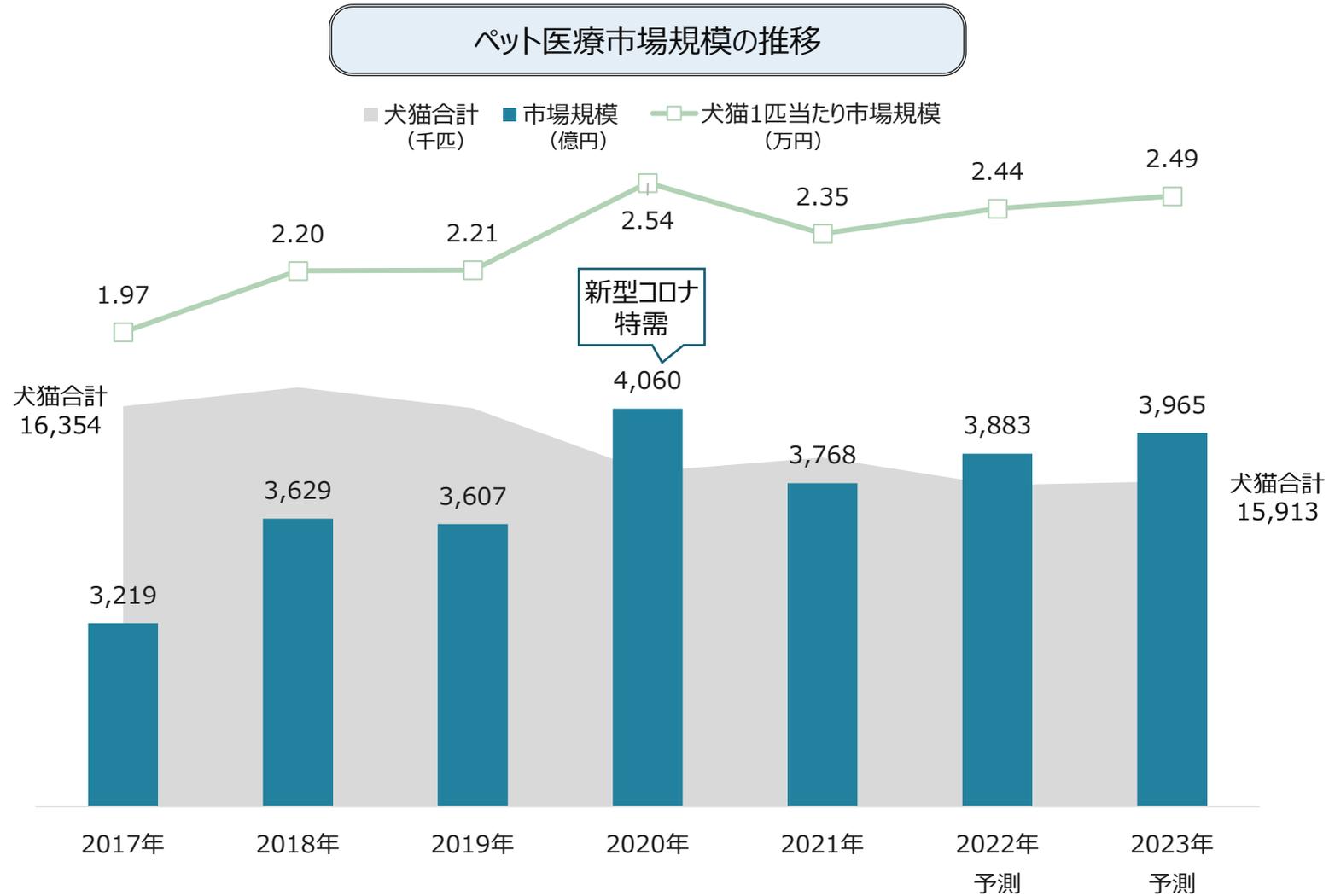
市場動向及び今後の戦略

2



市場規模

- 市場規模は順調に拡大傾向
- 犬猫1匹当たり支出額についても増加傾向



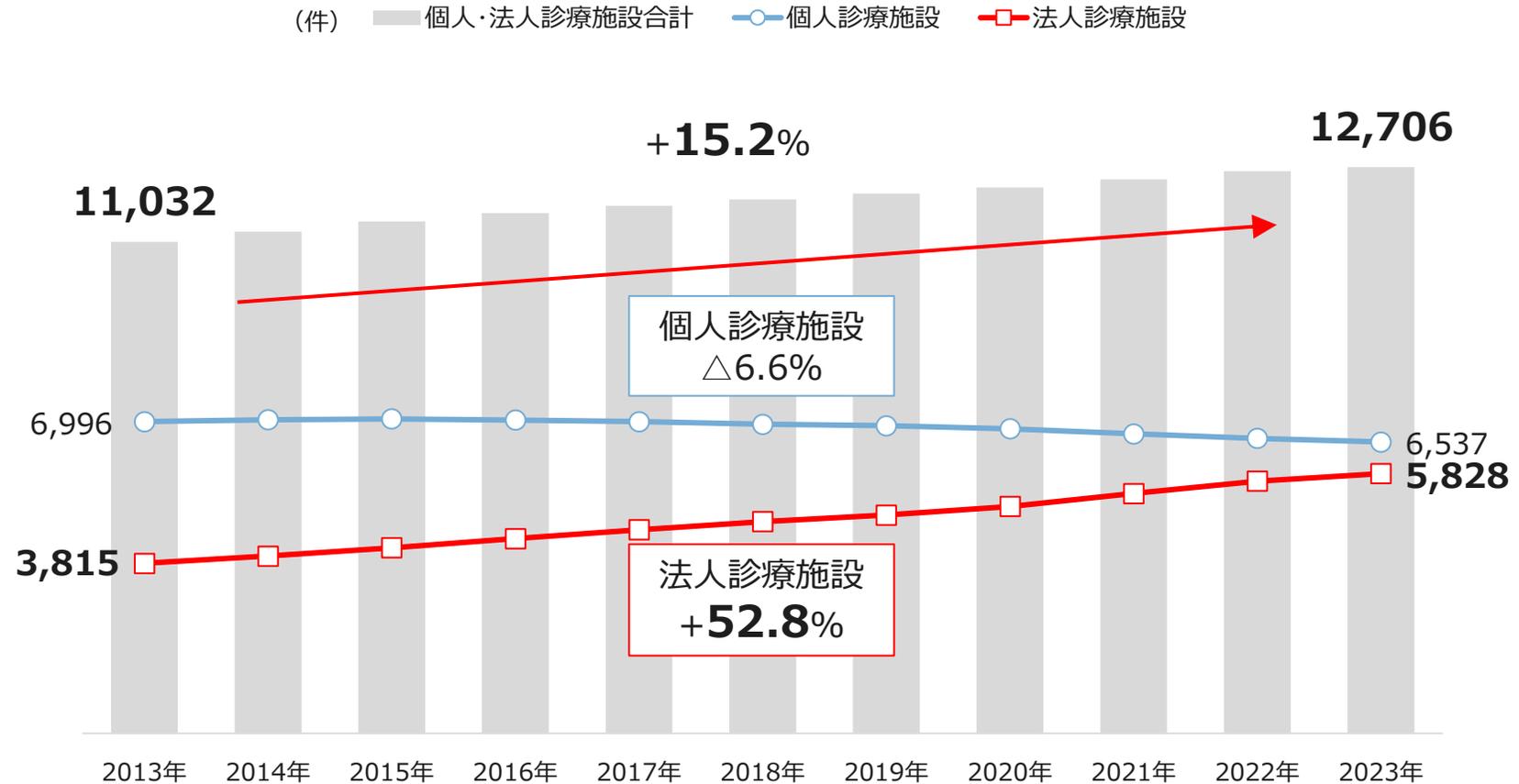
(出所) 一般社団法人ペットフード協会「令和5年全国犬猫飼育実態調査」、株式会社矢野経済研究所「ペットビジネスマーケティング総覧2022年版」より当社作成

動物病院の現状

- 直近10年で法人経営の動物病院が5割増の一方で個人経営病院は漸減
- 今後後継者不足による事業承継やM&Aのニーズが高まり、再編が加速すると予測



犬猫等の飼育診療施設*の推移



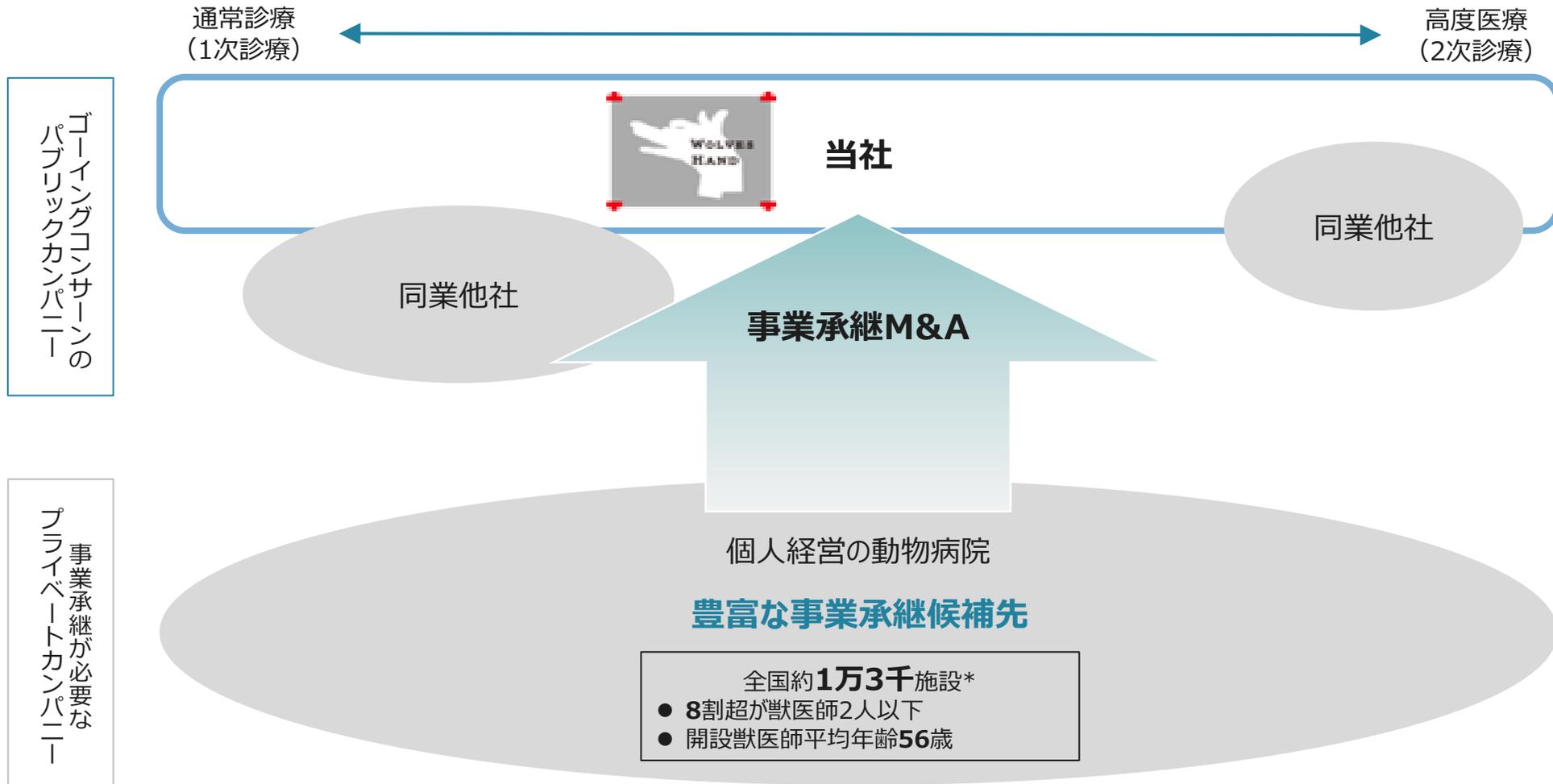
*公的施設を除く。法人・個人経営の小動物その他（犬猫等）を対象とした診療施設

(出所) 農林水産省HP「飼育動物診療施設の開設届出状況（診療施設数）」より当社作成

事業承継・M&Aの積極的実施



- M&A及び事業承継のニーズが今後高まる中、当社は1次診療から2次診療までを一気通貫で実施している特性から受入範囲が広範
- 特性を活かして事業承継及びM&Aを積極的に推進



*農林水産省HP「飼育動物診療施設の開設届出状況（診療施設数）」「獣医師の届出状況（獣医師数）」より当社作成

2025年6月期 連結業績予測



- 高度医療の症例増加による既存病院の収益性向上、及び自社開院と事業承継・M&Aを両輪で推進することで10%以上の売上成長を予定

(単位：百万円)

	2024年6月期	2025年6月期 業績予想	増減額	増減率
売上高	4,990	5,541	+551	+11.04%
営業利益	827	898	+71	+8.59%
経常利益	800	888	+88	+11.00%
親会社株主に帰属する 当期純利益	558	561	+3	+0.54%
EBITDA	1,150	1,164	+14	+1.22%



本資料に記載されている計画や見通し、戦略などは本資料作成時点において取得可能な情報に基づく将来の業績に関する見通しであり、これらにはリスクや不確実性が内在しております。かかるリスク及び不確実性により、実際の業績等はこれらの見通しや予想とは異なる結果となる可能性があります。

また、本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っており、またこれを保証するものではありません。

【お問合せ先】

株式会社WOLVES HAND CFO室

電話：06-6599-9106

Mail：info@wolveshand.jp